

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人はなみずきの会

## I 特別養護老人ホーム

### 1. 事業方針への対応

新型コロナウイルスの蔓延に伴い多くの医療機関が受診・入院の受入れを制限する中、嘱託医との連携をより密に取り、入所者の健康管理に努めた。

入所者に新型コロナウイルス感染者が発生したが、早期の適切な対応により感染拡大にはつながらなかった。

### 2. 重点課題への対応

(1) 毎月最終木曜に全部署参加の全体ミーティングを行い、課題の共有と対応方法の徹底を行った。

(2) 新型コロナウイルスの流行に伴い、家族の面会停止や入館時の検温及び手洗い・マスク着用の徹底など感染対策の徹底を行った。

入所者・職員を対象に3回のワクチン出張接種を実施し、感染症の蔓延防止に努めた。

### 3. 活動目標と実施内容

(1) 施設内研修を年8回開催し職員の資質向上に取り組んだが、対面での研修が行えず効果は限定的であった。

(2) 外部研修が軒並み中止となったが、オンラインでの研修など新たな手法を取り入れた。

(3) 新型コロナウイルスの影響で入院施設・入所施設の面会が全くかなわず、新規入所者の情報収集が滞り、新規入所者の受入れにかなりの時間を要した。

## II ショートステイ

### 1. 事業方針への対応

特別養護老人ホームの上位待機者をロングショートステイとして積極的に受け入れ、ベッドの回転率の向上に取り組んだ。

利用時には本人及び同居家族の健康状態を確認すると共に抗原検査キットを活用し、新型コロナウイルスの外部からの持ち込み防止を図った。

## 2. 重点課題への対応

- (1) 緊急ショートステイ及びあんしんショートステイの利用希望に可能な限り対応した。
- (2) 職員の資質向上をテーマに施設内研修を年8回行ったが、書面配布での研修が中心で効果は限定的であった。
- (3) 利用開始前の健康チェックを徹底し、感染対策を十分に行った。

## 3. 活動目標と実施内容

- (1) 利用者個々の利用目的を把握・共有し、より満足いただけるよう個別性の高いサービスを提供した。
- (2) ケアマネジャーとの密な情報共有を行い、急な利用キャンセルに対しても適切に対応し、ベッドの回転率を確保した。
- (3) 施設内研修を年8回開催し、職員の資質向上に取り組んだ。
- (4) デイサービスとの相互利用者については、送迎時間なども含め一貫したサービス提供を行い、利用者及び家族の負担軽減に努めた。
- (5) 利用開始前の体調確認を徹底し、感染の可能性がある利用者は居室での個別対応など施設での感染予防に努めた。
- (6) 送迎時の検温や事前のヒアリングなど、利用者の体調管理を十分に行った。

## Ⅲ デイサービス

### 1. 事業方針への対応

自宅のベッドサイドでの介助など、家族の負担を考慮し、可能な限り対応を行った。送迎時の本人及び同居家族の健康確認と共に、乗車前に検温を実施し体調管理を徹底した。

車内でのマスク着用を呼びかけ、送迎車内の換気にも配慮した。

### 2. 重点課題への対応

- (1) 送迎時のベッドサイドでの介助や送迎時間の時間指定対応など、利用者本位のサービス提供に努めた。
- (2) 利用中の様子を送迎時に家族に細やかに報告し、家族との情報共有に努めた。
- (3) 体験利用者の情報共有を徹底し、細かな対応を行うことで利用へと繋げた。

### 3. 活動目標と実施内容

- (1) 体験利用者の情報を職員全員で共有し、安心感を持っていただくことで、高い確率で実利用へと繋げた。
- (2) 可能な限り利用者へのマスク着用を呼び掛けた。
- (3) 利用者や家族の要望に沿えるよう、可能な限りフレキシブルな送迎対応を行った。
- (4) 施設内研修を年8回開催し、職員の資質向上に取り組んだ。
- (5) 送迎時の体調確認及び検温を徹底し、感染のリスクがある方は利用の自粛や施設内での個別対応を行い、他利用者への感染拡大防止に配慮した。
- (6) ショートステイとの情報共有を徹底し、相互利用者の不安を少しでも解消できるよう配慮した。

## IV ケアハウス

### 1. 事業方針への対応

入居者一人ひとりの意向を尊重し、それぞれにご満足いただける「住み良い我が家」の提供に努めた。

新型コロナウイルスの感染防止の観点から外出自粛を呼びかけるとともに、食堂のパーテーション設置などハード面での対応を行った。

家族への面会自粛の呼びかけや入館時の検温・手指消毒の実施など、「自立」を掲げる施設の中で可能な限り感染防止に取り組んだ。

### 2. 重点課題への対応

- (1) 入居者の急変時に適切な対応が取れるよう、本人や家族との日常的な情報交換を行った。
- (2) 食堂を中心とした施設内の消毒を徹底し、感染予防に努めた。
- (3) 外出自粛を呼びかけると共に外部からの来訪者の健康チェックを実施した。

### 3. 活動目標と実施内容

- (1) 入居者が気兼ねなく相談できるよう、職員側から積極的に声かけを行った。
- (2) 入居者の身体レベルの低下を正しく把握し、適切なサービス利用や早期の異常発見に努めた。
- (3) 入居者個々の健康面での不安を取り除くべく、医療機関やご家族からの情報収集を徹底し、利用者の健康管理に努めた。

- (4) 入居者の体調確認を密に行い、体調のすぐれない方は居室での食事を行うなど感染予防に配慮した。
- (5) 施設入口に体温計と消毒薬を設置し、入館前の検温及び手指消毒を徹底した。
- (6) 入館者全員の検温を行い、面会者には短時間での面会を依頼した。

## V ケアプランセンター

### 1. 事業方針への対応

利用者にとって最善の対応を念頭に確実且つ公正なケアプラン作成を行った。厳格化する法令に対しても確実な対応が行えるよう、堅実な業務遂行に努めた。また、いきいきセンターや介護事業所との連携を強化し、困難事例に対しても最後まで誠意ある対応を行った。

### 2. 重点課題への対応

- (1) 社会人、福祉人としての倫理感を明確に持ち、施設の代表として外へ出ているという認識を徹底した。
- (2) 法令順守を大前提として業務遂行に努めた。
- (3) 要支援者を積極的に受け入れることでいきいきセンターとの連携を密にし、いきいきセンターからの要介護者の紹介率アップにつなげた。

### 3. 活動目標と実施内容

- (1) 施設併設の強みを活かし、困難事例や緊急のサービス利用に取り組むと共に、福祉用具の一時的な無償貸与も行った。
- (2) 職員を介して感染症が蔓延することがないように、職員の健康管理を徹底した。
- (3) ご自宅へ訪問する際には身だしなみを整えるなど、利用者に対して失礼がないよう接遇マナーを徹底した。
- (4) 常に中立な立場にあることを意識し、過不足の無いサービスを盛り込んだケアプランを作成した。
- (5) 職員に毎日の検温と手指消毒を義務付け、ワクチン接種を3回実施した。

## 事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人はなみずきの会  
理事長 川崎 健司